

1. 科目名 (単位数)	教師論 (初等) (2単位)	3. 科目番号	EDTE1302
2. 授業担当教員	後藤 泰博		EDTE1102
4. 授業形態	講義、事例研究 (グループワーク)、演習 (論作文)、発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	今日の学校教育が抱える様々な課題を解決する上で、その主たる担い手である教員の役割や責任は極めて大きい。これからの教員は、教科・科目に関する知識を教授するだけでなく、広い視野に立ち、思いやりのある人間性豊かな子どもたちを育成することが求められている。現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。		
8. 学習目標	1. 我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解し、説明が出来るようになる。 2. 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解し、態度化できる。 3. 教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解し、説明できる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	① 宿題として、今回の授業内容に関連する用語調べを求めることもある。 ② 「私の目指す教師像」という内容の課題レポートを求める。成績評価の対象となるため必ず最後の授業までに提出すること。なお次の点に注意すること。 ・字数は 1000～1200 字とする。一般的な内容ではなく、自分が教師になるという想定で具体的に記述すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 佐藤晴雄著『教職概論-教職を目指す人のために (第5次改訂版)』学陽書房、2018。 【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社。 東京福祉大学編『教職科目要説』ミネルヴァ書房。 【教材】 必要に応じて授業内でプリントを配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 教職の意義や教員の役割・職務内容に関心を持ち、教員に求められる資質・能力、教育を支える法律上の規定などを理解し、説明ができる。 ○評定の方法 ・学習記録・演習課題 60%、レポート 20%、受講態度 20%とする。		
12. 受講生へのメッセージ	1) 授業は、発表や議論など学生が中心となって進めていきます。ぜひ積極的に取り組んでください。 2) 教科書の内容を分担発表するので、教科書は必ず購入してください。 3) 授業中の迷惑行為 (私語など)、飲食、携帯電話の使用などは禁止します。 4) 適切な理由のない遅刻や早退のないように努めてください。また、授業中の許可のない教室の出入りは認めません。		
13. オフィスアワー	初回講義で告知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (シラバスの確認) 教職を目指した理由や過去に接してきた教員のひととなり、仕事ぶりを通じてもっている教師像の内容について出し合い、知っている範囲での教師の仕事についてまとめ、望ましい教師像を発表するとともに、教職についての知りたいことを発表する。	事前学習	教職を目指したきっかけや理由と過去にお世話になった教員のイメージと心に残る教員の姿について整理しておく。
		事後学習	過去の経験から教員の職務を整理し、自分はどのような教員になりたいかを話し合いを参考にまとめてみる。
第2回	教員に求められる資質・能力 国や各都道府県が求める教員の資質や能力を調べ、自分たちが描いていた教師像との違いや共通性について話し合い、発表を通して教員の役割について新たな知識を持つ。	事前学習	国や各都道府県教育委員会が求める教師像の資料を見て、教員に求められる資質や能力について読んでおく。
		事後学習	教員に求められる資質・能力を通して、自分たちがもってきた教師像の修正を行う。教職に対する知識を整理する。教員に求められる資質・能力から、大学生活をどのように送ればよいか考える。
第3回	教職の意義 いつの時代にも教員に求められる資質・能力は高い要求がされていることを資料の読み取りを通して確認するとともに、なぜ高い要求がされているのかグループで考え、発表する。また、教員の仕事と他の職業の違いについて比較し、教員の仕事の特徴を知る。	事前学習	教員の職務は各種の法規で規定されていることを理解し、職務遂行を行うこと、教諭の職務も規定されていることを理解し、教諭の役割について自分の意見をまとめる。
		事後学習	教員の仕事は、未来を担う子供たちを育成する教育を担う重要な仕事であることから、資質能力や資格が定められていることをまとめる。
第4回	教師観と理想の教師像 児童・生徒から見た理想の教師像と保護者や管理職、行政との視点の違いを理解し、学習者自身が理想の教師像について資料などを通して明らかにする。	事前学習	教員に求められる資質・能力は、いつの時代においても変わらず高い要求がされていることを資料に基づき、調べる。
		事後学習	授業学んだ内容を振り返り、自分なりの理想の教師像を持つ。
第5回	教師と教員養成の歴史 その時代時代における教員養成の背景を学ぶとともに、教員養成には社会的要求が深く関わっていることを学ぶ	事前学習	教員養成の歴史を事前に調べておく
		事後学習	教員養成の変化についてその理由について考えた事をまとめるとともに、その時代ごとにおける教員に求められる資質について整理する。

第6回	教員の任用と服務 各種の資料から教員になる資格要件を調べ、教職の果たす役割の重要性について話し合い、考えを発表する。学校の仕事は、教育課程に示されるとともに、校務分掌にも示されていることを調べ、学級担任の仕事のほかにも様々な職務があることを知る。	事前学習	教員の身分がどのようになっているかについて、資料を調べておく
		事後学習	教諭は、児童の指導のほかにも、校務を分担してよりよい教育の実現を目指していることをまとめる。
第7回	教師の役割と仕事 学級担任の職務には、学習指導や生徒指導など多くの仕事があることを、学級経営案を基に調べ、どのような姿勢で職務に取り組むことが大切か話し合い、まとめを発表し合う。	事前学習	学校の仕事は教育課程の実施に示されていることを、教育課程の資料から読み取る。児童の教育をつかさどるの内容について、資料を調べ、概要をとらえておく。
		事後学習	学級経営案を基に、学級担任の指導の内容の概略をつかみ、まとめる。学級を経営するための教員の姿勢について自分の考えを整理する。
第8回	管理職・主任の役割 学校長の職務権限を調べるとともに、地方公務員法や教育公務員特例法などをしらべ、教員には服務上・身分上の義務があることを理解し、教員としての自覚を持つ努力をどのように進めるか話し合う。	事前学習	教員には、職務遂行に当たって、服務上・身分上の義務があること等があることを調べ、その概要を理解しておく。
		事後学習	校長は、教員の服務上・身分上の監督があることや法規によって教員の服務上・身分上の義務が決められていることをまとめ、自覚を高めるための方策を考える。
第9回	教師の職場環境 学校でも働き方改革が叫ばれている今日、学校が教育成果を創出するためには、組織の一員として教育課題に取り組みが求められることについて調べ、教員としてどのような態度形成が望まれるかについて話し合い、考えを発表する。	事前学習	教師の職場環境について調べておく。
		事後学習	学校における働き方改革の行政の工夫や、学校現場での努力を理解し、教職への意欲を高める
第10回	学級経営と生徒指導 児童が楽しく生き生きと学校生活できるためには、支持的風土作りが重要である事を調べ、担任として学習指導と生徒指導に対してどのように取り組むことが望ましいのか話し合い、発表し合う。	事前学習	学級経営と生徒指導の関係について調べ、豊かな学校生活にとって支持的風土を作る教師の働き的重要性について知識を持っておく。
		事後学習	児童に意欲を持たせたり達成感をもたせたりし、自信を持って生活できるよう個に応じた指導や集団の指導の大切さについてまとめる。
第11回	教師の資質向上と研修 教員が学び続けることができるための研修の権利と義務が与えられていることを調べ、その制度を有効に使うための自らの資質・能力の向上を目指す努力をどのように進めるかについて話し合い、発表し合う。	事前学習	教員の資質の向上に向けて、教員を育成する仕組みがあることについて資料を基に、調べておく。
		事後学習	教員研修について調べたこと、資質向上の機会があり有効に活用するための方策について、話し合いを基にまとめる。
第12回	学校生活の実際 学校は、児童の健全な育成のために、家庭・地域・関係諸機関とどのように連携していけばよいのかについて、調べ、まとめる。	事前学習	開かれた教育課程について調べ、学校はどのような姿勢で取り組めばよいのかについて考えておく。
		事後学習	コミュニティスクール等が実施されている実際の状況と学校と家庭・地域・関係諸機関との連携の重要性についてまとめる。
第13回	教師と生徒指導（教育実習の意義と心得） 豊かな心を育むための教師の役割を調べ、豊かな心を育むために教員はどのような努力をする必要があるのか考え、発表し合う。	事前学習	現代の学校が置かれている立場や学校教育の課題に対して、学校組織の一員として、どのような働きが期待されているか、中教審答申を読んでおく。
		事後学習	チーム学校の考え方について要点をまとめ、考えをもつ。
第14回	教師と学習指導要領 学習指導を進めるに当たっては、学校の教育目標を実現することや学習指導要領に基づいて職務遂行することを調べ、生きる力を育てる学習指導をどのように進めたらよいか話し合い、考えを発表し合う。	事前学習	学習指導の進め方について、学習指導要領の総則を事前に読んでおく。
		事後学習	指導に当たっては、基礎的・基本的な知識技能の習得を始め思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力の育成など、生きる力の育成を目指すことについて考えをまとめる。
第15回	教員への進路選択 これまでの学習を振り返りまとめ、今後の進路選択に当たり、大学生生活をどのように送っていくのかについて話し合い、発表する。	事前学習	教員免許法や教育学部のカリキュラム、都道府県の教員採用選考の資料に目を通して、自分の進路を考えておく。
		事後学習	授業全体をふり返り、教育者にふさわしい資質能力を高めるために自分に必要なことが何かを考え、レポートをまとめる。